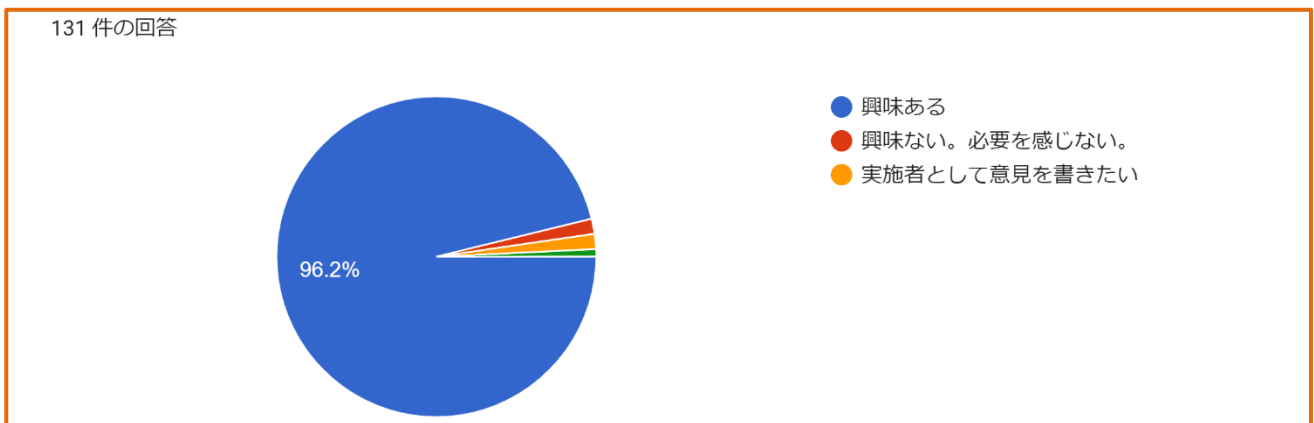


実用イタリア語検定 「答え合わせ交流会（仮称）」 アンケート結果

（特非）イタリア語検定協会

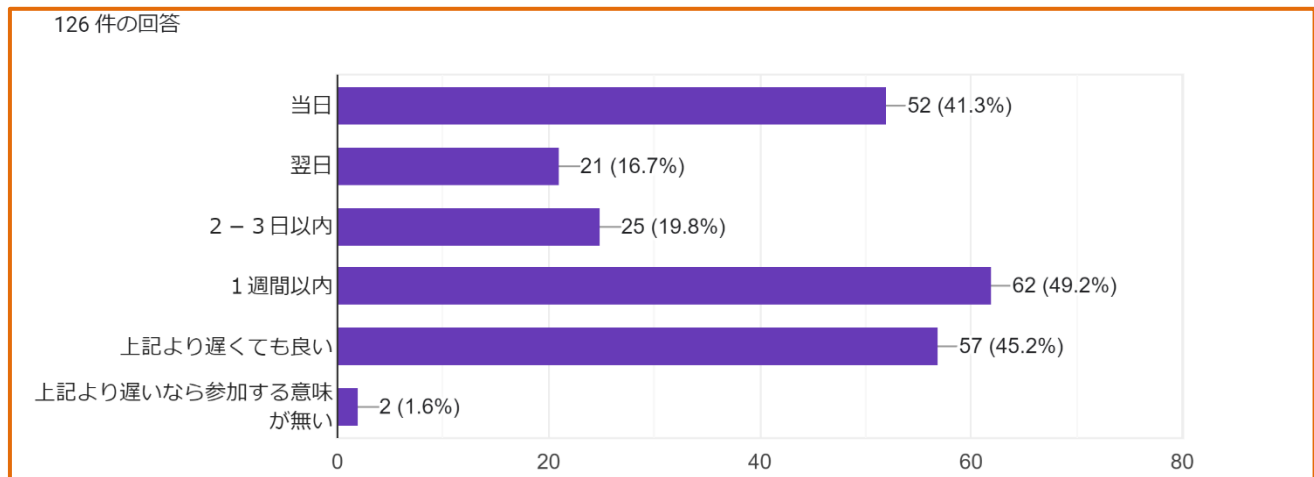
2023年11月10日から12月24日まで当検定公式サイトで募集したアンケートの結果を以下にお知らせします。回答総数は131件でした。

Q1 答え合わせ交流会(仮称)に興味はありますか



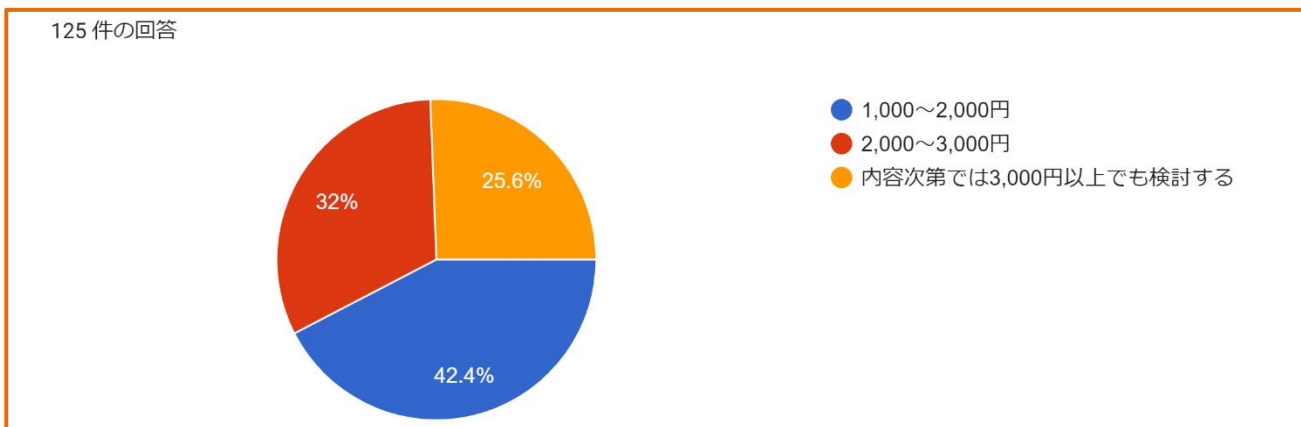
もともと興味の無い方はアンケートに回答しなかったと想定されるため当然と言えますが、2名を除いて「興味ある」と回答いただきました。

Q2 実施日程はいつが望ましいですか（複数回答可）



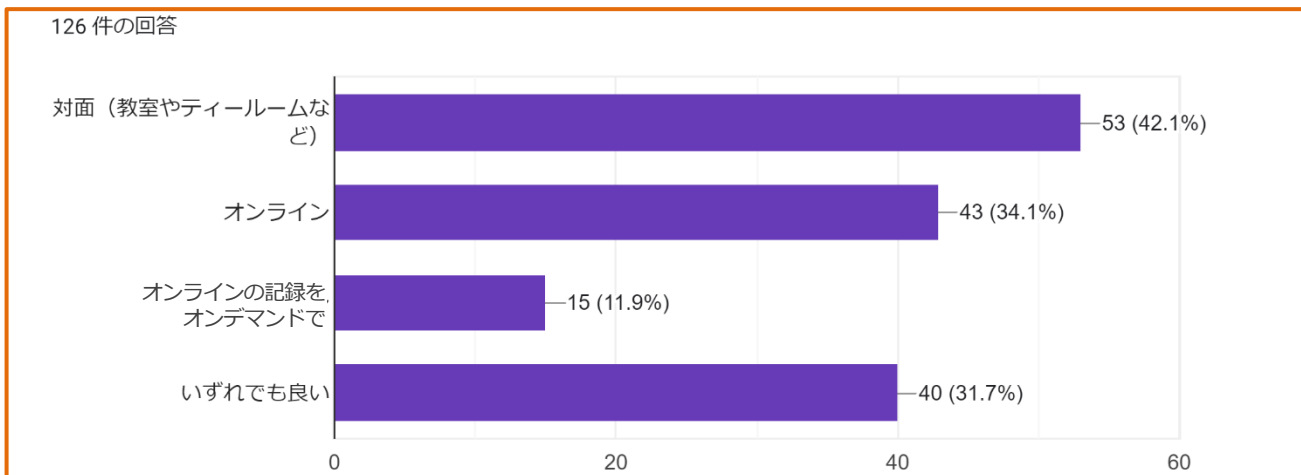
「当日」を希望する方が多いと予想していたのですが、意外な結果となりました。勤務や学業に支障ない日程で記憶の新しいうちに、という方が多いと思われます。なお、どれだけ早期に答え合わせ会を希望されているかを把握するため、アンケートには「試験当日」という選択肢も入れましたが、当日中は受験者以外には試験問題を絶対に開示できませんので、実際には当日開催は不可能ですのでご了承ください。

Q3 参加人数が 4-5 名で 90 分前後とした場合、受講料の許容範囲はどの程度ですか。
(「無料」は選択肢に入れてありません)



このアンケートでは傾向を知る目安として受講料を提示しましたが、実施形態、受講者数、対象級など、様々な条件で異なることがあります。実施機関に直接お問い合わせください。

Q4 対面、オンライン、いずれが良いですか



「対面」希望の方が多いのでは、と予想していたのですが、かなり異なる結果となりました。HP でアンケートを募集したので当然のことかも知れません。対面での実施講座もありますので、直接実施校にお問い合わせください。

Q5 ご意見やご要望があればご記入ください

皆様から多くの貴重なご意見をいただきました。以下、回答順に転載します。とても期待されていることが伺えました。皆様からのご意見・ご希望は実施校にもお伝えし、可能な限り対応いただくようお願いしております。(なお、個人が特定される恐れのある記述は削除しております。)

<p>是非希望します。 記憶に新しいうちに回答がわかれば、次への切り替えもできるのでは無いかと思います。</p>
<p>海外在住で勉強を始めたばかり、次回の検定受けてたい！状態です。すみません。値段、見当がつかないので空欄にしました。オンラインでの答え合わせに申し込んだら、その後数日間は視聴可能だと嬉しいです。そうであれば、当日質疑応答には参加できなくても何か得られるものがあるだろうし、参加した人も聞き逃した部分を確認できると思うので。</p>
<p>素晴らしい企画だと思います。実行されるならぜひ参加したいです。</p>
<p>他の語学試験ではやってない試みなのでぜひ参加してみたい。</p>
<p>復習の目的が、明確になるので楽しい会になると思います。 また独学なのでやる気も出てくると思います。</p>
<p>答え合わせ会があったほうが、学習のモチベーション維持にも繋がるし、他の方の視点も知れて良いと思います。</p>
<p>独学で学んでいる受験者にとっては有意義な機会となり、大変良いことであると感じました。</p>
<p>自分で復習して参加したいので翌週末の開催が好ましい。質疑応答に参加できるリアルタイム参加と、あとで視聴のみできるアーカイブ配信がある(参加費に差をつける)といい。イタリア語を独学でやるのは教材も少なく仲間もおらず気持ちが弱くなりがちなので、対面参加で他のイタリア語学習者の顔が見られたら励みになりそうだと思う。</p>
<p>良い企画ですね。独りで勉強していると行き詰まります。二級を2回受けましたが文法の解説を詳しく聞きたい設問が多く苦労しています。</p>
<p>講師の先生への質疑応答は、一時的な講習会のような形式でやって下さると普段の勉強と照らし合わせ出来るかと感じます。別枠で今後のイタリア語の勉強のためにやっても良いかと思ってみたりもします。ご検討宜しくお願い致します。</p>
<p>独学で知り合いもないので、とても良いと思いました。会場まで遠いので、試験の日に実施していただけるならありがたいですが、後日でもあるなら嬉しいです。</p>
<p>質問タイムがあると嬉しいです</p>
<p>会社員のため、平日の夜か週末が都合がいいので、オンラインで平日夜や週末など時間を選ばればかなり参加しやすいです。</p>
<p>こういう機会があるなら、久しぶりにイタリア語検定を受けてみようと思いました。</p>
<p>レクリエーション要素も入れるなど、イタリア語を学ぶ方々の繋がりにも役立つといいと思います。</p>
<p>ぜひ開催できるようご検討ください。正確な解説を聞くことは学習には欠かせないステップです。よろしくお願いいたします。</p>

<p>受験する側としては、答え合わせ会をすべての級において開催する必要があるとは限らないような気がします。</p> <p>また収支の厳しい状況を鑑み、教えていただく講師の方へのモチベーションとして必ず、有料開催が望ましいと思います。</p> <p>答え合わせ会よりも、対策講座のほうが有効かつ需要があると思います。特に、独学、お近くに学校がない、などの方の支えになるのでは？</p> <p>例えば過去問の抜粋などで作文対策講座とか、locuzione に特化、など。</p> <p>語学学校における検定対策講座はだいたい3ヶ月前などが開始時期ですが、そもそも人数が足りなくて授業も成立しないことが多いし。中級以上向けのしっかりした文法講座も少ないし、それらはたいていCEFRに則ったテキストを使用していますが、イタリア語検定はちょっと独自路線ですよ。それであれば、試験開催前にプチ講座みたいなものがあつたほうが嬉しいです。</p> <p>有料。1回のみ。オンライン対面問わず。もしくはオンデマンド可能など。</p> <p>いずれにせよ。お金は取るべきだし、講師には払うべきです。手弁当という考え自体が、言い方がきついですけれど、時代にそぐわないです。</p>
<p>試験の印象が残っているうちに（この問題、どっちの選択肢にしようか迷ったんだよな、という記憶が薄れないうちに）このような企画があればありがたいと思います。質問はあらかじめ募集しておいて（ざっくり大問1が難しかったので詳しく説明して欲しい、みたいなものも含めて）、先生の説明を聞いたうえでさらにつっこんでいきたい場合はその場で対応、のようでしたらよいかと思います。後から質疑応答をまとめて何かの形でフォローしていただく形式でもいいかと思います。さらにイタリア語の勉強を続けるモチベーションにつながるよう、学習のアドバイスもあればなお良いです。</p>
<p>対面、オンライン双方で開催し、オンラインの方はオンデマンドになるとなお良い</p>
<p>同じ目標をもった者同士の交流会となれば最高です！</p>
<p>解説の資料もいただけると、その後の勉強の見直しにとっても助かるので資料も込みで欲しいです。他の級の資料なども購入できるようになると次の級の勉強にいいなと思います。</p>
<p>アンケートありがとうございます！大阪で実施希望です。春は1週間後の土日、秋は可能ならテスト終了後を考えております。よろしくお願いいたします。</p>
<p>Twitterでは日々有益な情報を届けてくださり感謝しています。英検、TOEIC、仏検、独検、中検、手話検定、などを、これまで受けてきましたが、他の試験ではなかなかこのような配慮はないと存じます。無理のない程度に、今後もよろしくお願い致します。</p>
<p>●実施日程はいつが望ましいですか 第57回の試験で「答え合わせ」の個人レッスンを実際に受講しました。試験が終わって1ヶ月半ほど経過しますが、未だにもっと詳しく知りたいです。</p> <p>●受講料の許容範囲はどの程度ですか 普段受講しているオンラインレッスンはグループで90分1回あたり3,000円を超えていますので3,000円以上でも払えます。ただグループだと質問する勇気ある人は少ないと思います。</p> <p>●対面、オンライン、いずれが良いですか 対面となると都市部の方が対象になるので地方住まいの私はオンラインが現実的です。</p> <p>●「答え合わせ会」を考えてくれるなんて親切な検定だと思います。</p>
<p>独学で4級まで取得しましたが、ここからはまた一つ難しくなると思うので他の学習者と顔を合わせたり、先生と知り合う機会があれば嬉しいです。</p>
<p>できれば作文も検討していただけるとありがたいのですが？</p>
<p>試験会場から遠方なので、対面なら当日でないと参加できないと思います。オンラインなら複数日時を設定していただくと参加しやすいです。</p>
<p>自宅で独学です。イタリア語学習の知り合いも、イタリア人の知人もいません。疑問点があってもなかなか解決できなくて困っています是非開催して下さい。</p>
<p>わざわざ対面で後日開催するのは大変だろうと思うが、自分で答え合わせをしてからがいいので、当日では質問ができないかなと思う。</p>

新しい試みを検討いただき、ありがとうございます。是非参加したいです。
ヒアリング、作文の回答のポイントを特に知りたい。
イタリア在住なので、日本時間の午後を希望します！
サイトに公表される解答だけではなぜそれが正解なのか分からないことがあるため、解説していただける機会があれば大変ありがたいです。
とても良い機会になると思うので、このような会の開催を心から希望します。
もし当日、試験の1、2時間後に行っていただけるのであれば一番ありがたいです。その場合は対面式にしていただけたら、参加者の方々と色々話せて楽しいかなと思います。後日であれば、スケジュールのやりくりの面からオンラインのほうが参加しやすいです。
興味深い取り組みだと思います。実施されるのを期待しております。
独学で勉強しているため同じ勉強している仲間と話ができるのは刺激になって良いと思います。
<p>日本の端 地方都市に住むリタイア組です。</p> <p>まったくの独学です。伊検には大変お世話になっております。</p> <p>豊富な過去問の提供、IBT試験の実施など、他言語検定でも手本として欲しいところです。</p> <p>リスニングと長文読解においては、一度訳や解答を見てしまうとそれにとらわれてしまって、学習効果が減衰されという事がありますし、作文は自己採点ができません。もちろん答え合わせ会のようなものは有難いのですが、学習用読み物や、作文添削を指導していただくところがあればいつも願います。何とか前回（23年3月）三級に合格しました。作文も分量、質ともに自信があったのですが提示の点数は意外に低かったです。なかなか難しいことは承知ですが、採点基準、誤答例などを少しでも知りたいです。逆に別言語の試験（日本で一番有力な）で思いがけず作文満点だったことがあります。自己評価としては納得しかねる事例でした。私も似たような仕事していたのですが、作文論文の採点基準は世間ではどのように客観性、公平性、妥当性を担保しているのか主催者に問うてみたい所です。</p> <p>とりあえずは答え合わせ会でもあれば参加してみたいと思います。オンライン以外の選択肢はないと思っています。居住地のハンディありすぎで。</p> <p>毎度検定協会の公報で、リモートの不満、不正対策等話題になっており、IBT受験者も減少とのこと。地方在住者の受験機会を奪わないで欲しいと切望いたします。今の時代にワープロ入力より、手書きを偏愛するとはいかなもののでしょうか？大都市圏在住者にもメリットは計り知れずあるはずです。（と言っても私も少しく韓国中国語をやったがワープロ入力などやったこともないので、手書きの必要性は分かる）</p> <p>他言語とも協調を取り、リモートを活用し語学教育の振興を図っていただきたいものです。寄付もしたいと思います。受験料も値上げされても受け入れます（現在の金額は妥当だと思いますが）。</p> <p>11月まで他の試験に注力していて、とても合格の見込みはないのですが、伊検の継続を願って受験し続けます。</p>